

# 循環器内科 池田部長 タウン通信に掲載！

佐々総合病院の循環器内科 池田部長のインタビュー記事が、  
2月17日号のタウン通信に掲載されました。

※タウン通信 毎週水曜日発行（西東京市・東久留米全域、小平東部・新座市一部）

—— 新聞折込：朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞ほか ——



佐々総合病院・循環器内科部長の池田篤史医師。以前勤務の病院では、年間800件以上のカテーテル検査・治療の経験を持つ

## インタビュー

日本人死因の第2位「心疾患」を知って！

# 「心筋梗塞、狭心症から身を守る」

カテーテル検査・治療のベテランに聞く

佐々総合病院 池田 篤史 医師  
循環器内科部長

「虚血性心疾患」は、全体の15.5%（2014年）。その内訳をみると、心筋梗塞や狭心症といった、いわゆる虚血性心疾患が約4割を占めている。その主な原因は生活習慣病に起因する動脈硬化であるため、日頃から注意していけば十分に予防も可能だ。以前は年間800件以上のカテーテル検査・治療をしていた佐々総合病院循環器内科部長・池田篤史医師に、虚血性心疾患の現状を聞いた。

日本人の死因第2位の「心疾患」（全体の15.5%）は2014年。その内訳をみると、心筋梗塞や狭心症といった、いわゆる虚血性心疾患が約4割を占めている。その主な原因は生活習慣病に起因する動脈硬化であるため、日頃から注意していけば十分に予防も可能だ。以前は年間800件以上のカテーテル検査・治療をしていた佐々総合病院循環器内科部長・池田篤史医師に、虚血性心疾患の現状を聞いた。

「虚血性心疾患」は、全体の15.5%（2014年）。その内訳をみると、心筋梗塞や狭心症といった、いわゆる虚血性心疾患が約4割を占めている。その主な原因は生活習慣病に起因する動脈硬化であるため、日頃から注意していけば十分に予防も可能だ。以前は年間800件以上のカテーテル検査・治療をしていた佐々総合病院循環器内科部長・池田篤史医師に、虚血性心疾患の現状を聞いた。

「虚血性心疾患」は、全体の15.5%（2014年）。その内訳をみると、心筋梗塞や狭心症といった、いわゆる虚血性心疾患が約4割を占めている。その主な原因は生活習慣病に起因する動脈硬化であるため、日頃から注意していけば十分に予防も可能だ。以前は年間800件以上のカテーテル検査・治療をしていた佐々総合病院循環器内科部長・池田篤史医師に、虚血性心疾患の現状を聞いた。

「虚血性心疾患」は、全体の15.5%（2014年）。その内訳をみると、心筋梗塞や狭心症といった、いわゆる虚血性心疾患が約4割を占めている。その主な原因は生活習慣病に起因する動脈硬化であるため、日頃から注意していけば十分に予防も可能だ。以前は年間800件以上のカテーテル検査・治療をしていた佐々総合病院循環器内科部長・池田篤史医師に、虚血性心疾患の現状を聞いた。

「虚血性心疾患」は、全体の15.5%（2014年）。その内訳をみると、心筋梗塞や狭心症といった、いわゆる虚血性心疾患が約4割を占めている。その主な原因は生活習慣病に起因する動脈硬化であるため、日頃から注意していけば十分に予防も可能だ。以前は年間800件以上のカテーテル検査・治療をしていた佐々総合病院循環器内科部長・池田篤史医師に、虚血性心疾患の現状を聞いた。

「虚血性心疾患」は、全体の15.5%（2014年）。その内訳をみると、心筋梗塞や狭心症といった、いわゆる虚血性心疾患が約4割を占めている。その主な原因は生活習慣病に起因する動脈硬化であるため、日頃から注意していけば十分に予防も可能だ。以前は年間800件以上のカテーテル検査・治療をしていた佐々総合病院循環器内科部長・池田篤史医師に、虚血性心疾患の現状を聞いた。

**佐々総合病院**  
☎ 042-461-1535

西東京市田無町  
4-24-15

田無駅前 青柳街道  
佐々総合病院  
田無小学校 ロードスター  
田無駅

佐々総合病院 検索

**ワンポイント情報**

自分の体の状態や生活習慣病の有無を把握するには「人間ドック」が有効。佐々総合病院で実施している。心疾患マーカー（BNP）のオプションあり。詳しくは健診センターへお問い合わせを。

☎ 042-461-8383 (受付:平日 12～17時)

平成28年2月17日(水)掲載